

教育委員会会議録

令和7年12月定例会

教育委員会議事録
(令和7年12月定例会)

- 1 日 付 令和7年12月19日(金)
- 2 場 所 えびなこどもセンター 2階 201会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 濱田 望
教育委員 武井 哲也 教育委員 海野 望
教育委員 藤吉 ひとみ
- 4 出席職員 教育部長 江下 裕隆 教育部教育支援
担当部長兼教育
支援担当次長事
務取扱兼教育支
援課長事務取扱 麻生 仁
教育部次長 吉川 浩
教育部参事兼教
育総務課長 近藤 直樹 教育部参事兼教
育総務課文化財
担当課長兼文化
財係長事務取扱
兼郷土資料館長
兼歴史資料収蔵
館長 押方 みはる
教育部参事兼就
学支援課長兼指
導主事 山田 圭
教育部参事兼学
び支援課長 田中 歩 教育部参事兼教
育支援課教育支
援担当課長兼教
育支援センター
所長兼指導主事 小藺 洋
- 5 書 記 教育総務課総務
係長 小林 亮介 教育総務課主事 檀上 哲史
- 6 傍聴人 0名
- 7 開会時刻 午後3時02分
- 8 付議事件
(1) 教育長報告
(2) 報告事項
日程第1 報告 第29号 令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算(第7号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について
- 9 閉会時刻 午後3時52分

○伊藤教育長 本日の出席委員は全員でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会12月定例会を開会いたします。

傍聴希望人はございません。

本定例会の議事録署名委員は、濱田委員、武井委員にそれぞれよろしく申し上げます。

それでは、教育長報告をいたします。

11月27日（水）は、前回の教育委員会11月定例会でした。教育課題研究会、市長定例記者会見がございました。その日は、中学生登別市訪問団見送り、小学校支援級合同宿泊見送りがございました。5年生は野外教育に皆さん一緒に行くし、修学旅行もみんな一緒に行くので、小学校4年生を対象に愛川ふれあいの村に宿泊に行きました。支援級の子もたちということで、同じ数ぐらいの教員や介助員がついて宿泊に行きました。

28日（金）は、大谷中学校でオンラインのフルインクルーシブ教育朝会がありました。この日は、教育委員会の職員がダンスを踊るのですが、中学校の応援団長が朝から来てダンスを覚えてくれて、職員だけでなく、応援団長も一緒に踊ってくれて、盛り上がりました。

29日（土）は、図書館を使った調べる学習コンクール表彰式、嶋崎家住宅見学会視察に行かせていただきました。

30日（日）は、民生委員児童委員協議会退任委嘱式が行われました。海老名市児童絵画コンクール表彰式、併せて姉妹都市児童絵画作品表彰式が行われました。MOAという1つの団体がやっている絵画コンクールで、その中で海老名市の子が銀賞に選ばれた。全国で銀賞ということで、かなりいい作品として認められたということでございます。

12月1日（月）は、門沢橋小学校で朝のあいさつ運動、教職員養成の大学連携として、玉川大学との打合せがありました。今そこで客員教授をしている笠原さんという方が海老名市にいらっしゃいました。

2日（火）は、市議会第4回定例会本会議が開会しました。その日、12月校長会議、議会一般質問割振り・部内調整ということで、先ほど江下教育部長から、この会議の前に皆さんにご紹介がありましたが、一般質問があったところでございます。

3日（水）は、えびな支援学校生徒会選挙開票見学に行かせていただきました。和座海綾地区小中学校管理職組合の面会がありました。毎年、退職される校長先生方のその後の再任用、再雇用、その他働く場所について管理職組合から依頼があるところがございます。教職員人事異動に係る面接がありました。この後、ずっと、異動等の面接があるところ

ろでございまして、もう既に始まっているということです。議会一般質問部内ヒアリングがありました。

4日（木）は、同じく議会一般質問市長ヒアリングがありました。令和8年度予算編成に係る校長会代表者との協議ということで、予算編成に関わって校長会代表者と話合いをしたところでございます。

6日（土）は、フルインクルーシブ教育市民との対話の場ということで、レゴブロックでみんなが集まる教室のような場を作りました。

○濱田委員 今日タウンニュースに載っていました。

○伊藤教育長 そこに教育委員会の職員の馬越の写真が載っていました。これは面白かったのですが、講師の方、名前はすぐ出てこないですが、海老名小中学校の出身の方が大学で先生をしていて、そういうことをやっているということで来ていただきました。不登校支援団体ぼちぼちクリスマス会ということで、サンタクロースの格好をして、小菌教育支援担当課長はトナカイの格好をして、2人で行ってまいりました。

7日（日）は、藤吉委員が人権擁護委員に関わってございますので、ハート&ピースフェスタ（人権作文・ポスター等表彰式）に行ったところでございます。

8日（月）は、初任者研修授業参観で上星小学校に行きました。

10日（水）は、清水宏枝さんという方が主催しているEBINA PrixShimizu2025事業ということで、金澤翔子さんというダウン症の方がみんなの前で書道を披露されました。

○濱田委員 芸術的な書道ですね。

○伊藤教育長 それを披露していただいて、私も日めくりカレンダーみたいなものがあつたので、それに金澤翔子さんの翔子というサインをしてもらって、麻生教育支援担当部長にあげました。

○教育支援担当部長 自席近くのパーテーションに大事に飾ってあります。

○伊藤教育長 それから、教職員人事異動に係る面接ということです。

11日（水）は、12月教頭会議、臨時最高経営会議がございました。年末交通事故防止運動キャンペーンということで、激励会に行って、あとは物品配りをしてきました。

12日（金）は、市議会第4回定例会一般質問が始まりました。

13日（土）は、今泉中学校地区地域合同懇談会ということで、上星小学校、今泉小学校、今泉中学校の地域の方々、PTAの方々の会議です。今年は通学路や地域の安全について上星小学校のPTAの方が提案されて、それを皆さんで話し合うという会議でござい

ました。

15日（月）と16日（火）は、市議会第4回定例会一般質問です。

17日（水）は、校長連絡会ということで、校長先生との協議の場がありました。その中で学校予算編成調整会議ということで、現状の学校予算についての調整、今どのような状況かを説明しました。海野教育委員の辞令交付式がありました。どうもありがとうございました。

○海野委員 よろしくお願ひします。

○伊藤教育長 また引き続きよろしくお願ひいたします。

あと、「鼓童」の市長面会の同席は、お父さんが海老名出身の息子さんが「鼓童」に入ったということで、市長への面会に同席しました。まちづくり戦略研修会ということで、黒岩知事が来られて、市の幹部、市議会議員の方々にお話をいただいたところでございます。

18日（木）は、市議会第4回定例会本会議が閉会いたしました。上程した全ての議案が承認されました。教職員人事異動に係る面接ということで、海老名市に来年移って仕事をしたいという人たち、希望者と面接をしているということです。

19日（金）、今日は、教育委員会12月定例会、教育課題研究会、この後、教育委員温故館見学があります。「かながわのはにわ展」ということで、県の遺跡を温故館で展示しています。じっくり見ていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。えびな昔話りの会代表者面会ということで、8年目になるということで、その会の方が来られて、1月の催し物について説明にいらっしゃいました。

これが主な事業報告ですが、皆さんから何かありましたらお願ひいたします。

○武井委員 毎日用事があって大変ですね。

○伊藤教育長 でも、今月はあまり働いていないかもしれないなど自分では思っているのです。

○濱田委員 1個だけいいですか。17日のまちづくり戦略研修会、黒岩知事がお見えになったようですが、どんな内容の研修会でしたか。

○伊藤教育長 しっかりと聴いていた江下教育部長に答えてもらいたいと思います。

○教育部長 黒岩知事からは、なぜ自分が知事になったかという経過から入って、「いのち輝くマグネット神奈川」というテーマについて話がありました。それは前半で、後半は津久井やまゆり園のときの対応について話がありました。ご自身も一番印象に残っている

んだと思うのですが、それを受けて、その後、どうやっていったか。障がい者の方々の理解がどう変わっていったか。そういったお話を聴きました。その中で、海老名市はすばらしいと言っていたのが、海老名のフルインクルーシブ教育の取組です。自分もそういった考え方を持っているから、一緒にやってみようということでした。

○濱田委員 フジテレビの話は特に出なかったですか。

○伊藤教育長 ありました。

○教育部長 ありました。自分が入ったときのフジテレビの視聴率は最低だったが、2年後に、トップになった。でも、自分が辞めて、今はまた低くなっている。その理由はよく分からないと言っていました。

○伊藤教育長 話すのが上手でした。

○武井委員 そうですね。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 今日は「新年」という話題で、あと10日ほどで大みそかです。ただ、仕事上は我々も学校も会計年度ということで、4月から3月ということで年度年度の仕事をしているのですが、私は新年を自分なりにすごく大事にしています。何でかなと思ったから、ここに書いてあるように子どもの頃からそれがしみついたような生活をさせられていたからです。おそらく今の人たちはそんなことはないのですが、藤吉委員がいらっしゃる中で何とも言えないですが、大みそかに神棚を飾ります。年神様、恵比寿様とか、場所が決まっていて、鳥居みたいな輪のようなものを作って、しっかりと神棚に並んでいて、その前に御幣束が3本や2本と決まっていて、それも並んでいて、そこに神社から頂いたものを全部飾るのです。あと玄関にしめ縄。あと、台所、トイレ、水回りにみんな飾るのです。それで悔しかったのは、うちは兄がいたので、父と兄しか触ってはいけないのです。次男の私は何もしてはいけないのです。

○濱田委員 家長制度ですね。

○伊藤教育長 本当にそうなのですよ。私は、山に行って、松を切るのです。でも、一番てっぺんを切ると怒られるから、横のほうを必要な本数切ります。あとは餅切りをさせられて、私の仕事はこれだと思っていました。

その後、父の具合が悪くなって、他界して、兄がずっと海外で過ごしていたので、結果的に私が息子たち3人を連れて大みそかの前に田舎に帰って、3人で前の年の写真を撮っ

て、それと同じように飾ります。私は、3人の息子全員に同じように手伝わせて、あと隣にある仏壇掃除も大みそかのときに絶対しなければいけないので、そういう仕事もみんなです。割り振ってやっています。ここにあるようにお勝手が忙しいのです。何だか知らないが、大みそかは、うちの田舎は大きいカレイの煮つけを作らなければいけないのです。あとは、カキがたくさん取れたので、カキの潮汁みたいなものがそこに入っていて、あとはご飯を作らなければいけなくて、お雑煮に入れる引き菜をどんどん、大根とか、ゴボウとか、ニンジンとかを細かく入れる。私、大根が大嫌いなんだが、お雑煮の引き菜の大根は食べられたのですよ。

あとは、うちの田舎はタコが取れたので、前の日からおふくろがあんこ作りを豆からずっとやっていました。妻が幾らカレイの煮つけを作っても、おふくろの味には及びませんね。それは口が裂けても言えません。おいしい、おいしいと食べるが、私の頭の中では絶対及びません。

あとは大みそかに、お膳が神棚の前に2つ並べられるのですが、それは父と兄の分なのです。その他私たちは後ろに並ぶのですよ。妹もおふくろも後ろに並んで座って、今年も一年どうだったと。その後に悪魔はらいといって、神社からもらった御幣束を竹に挟んだやつでみんな頭をなでられてました。その御幣束は川に流すということで、橋のたもとまで持って行くのですよ。それを置いて戻ってくるという風習の中でやっていたので、一年、無事に暮らせたということをおみんなで祝いします。新年になると枕元に全部新しい服が用意されていて、それを身に着けて、景気がいいときは服も入っているのですが、景気が悪いと下着だけになる。パンツとシャツと靴下、それ以外はふだん着ている服ですが、いいときは洋服もついているのです。ただ、冬だったので、セーターは毎年秋になると毛糸屋さん連れて行かれて、自分の好きな色を選んでいいのですよ。好きな色があると、その冬、自分が1年間着る、要するに一冬着るセーターを毎年作ってもらっていました。

○武井委員 なかなかできないですよ。

○伊藤教育長 でも、みんなそうやっていました。でも、1年間同じだから、汚いのです。遊ぶからほつれて、それをおふくろがつないで、冬を過ごしてきてました。そうなったときに、私は、ここにあるように元朝参りといって、神社に初詣したことは、私、一回もないのですよ。だから、太平洋が見える両方ある岬の真ん中から日が昇るので、それをずっと待っているのです。毎年冬は、東雲といって、水平線からぼっと上がることはほと

んどなくて、ずっと薄い雲が海のところにあって、雲が上がってくるのですが、それがまたきれいなのですよ。

そこにあるように、毎年そこで手を合わせてお願い事をするのですよ。私は、お目当てのプラモデルが手に入りますようにと願っていました。次の日、仙台のプラモデル屋さんで行われる初売りがすごく豪華だったので、朝早くから並ぶのですよ。秋口からプラモデル屋さんをずっと見て、どのプラモデルを買おうか、決めているのです。ほかの人に取り残されてはいけないから、すごく早くプラモデル屋に行くのです。その店のおばちゃんをよく知っているから、こんな早くからよく来たねと餅を食べさせてもらったりして過ごしていました。本当に田舎だったので、新しい年を迎えられるということはすごく大事なことでした。新しい年を迎えて、自分が新しく生まれ変わるまではいかないが、また今年も頑張れるんだということ。あと、みんな貧しかったから、少しでも今年は豊かな生活ができるようにという思いで迎えていたのがあったので、それが結構続いていた。

うちの息子たち3人は、0歳のときから毎年連れて帰っていました。それを伝えたかったから、こうやって新しい年を迎えて、また自分で次のステージに行くんだよということをやったかったので、毎年連れて行ったのです。大人になってお金を持つようになったので、気仙沼の魚市場でキハダマグロの大きいやつを半分買うのです。うれしくて、うれしくて。マグロを買って、家に持って帰って、それを全部刺し身にすると食べ放題なのです。3日間のうちに食べ切れないぐらい大変でした。でも、息子たちは、そのとき、気仙沼は志津川よりもまちなので、大きいおもちゃ屋さんがあるのですよ。あの子たちはおもちゃ屋さんでおもちゃを買うのが楽しみで、毎年それについていったら新しいおもちゃが買える。そういう一年を通しての何かをすごく味わせたくて、ずっとやっていました。

そこにあるように三陸は海のまちなので、地震や津波の災害等がない年もあったので、今年一年、無事に過ごせたなと思うのです。震災の後、母が仮設住宅にいるときに三陸に行ったのですが、私のところに引き取ってからは一度も行っていない。でも、1日に太平洋から、海から昇る初日の出を見るというのは、やはり子どもたちにも伝えていかなければいけないので、それからは伊豆の海に行っちゃってちょっと豪華に、31日、1日とお金を出して、孫たちも含めて11人で行くのです。

○武井委員 相当な金額ですね。

○伊藤教育長 お正月は高いので、お金がかかるのですが、家族みんなで砂浜に並んで、初日の出に手を合わせます。本当に偉いのは、私、実を言うと、毎年毎年、大みそかにな

ると、そこを迎えるまでに自分で仕事を何を頑張るや自分の生き方の中で今年はこれを中心に自分はやるんだとかを決めるのですよ。考えるのは面倒くさいのですが、今年一年、自分はどういう姿で仕事をしていくか、教育の中でこれを大事にしていく等を決めて、ぶつぶつ、ぶつぶつ唱えるのです。でも、それはもう身についた習慣で。そういう意味で言うと、担任の頃、子どもたちにも、やはり新しい年を迎えることとか、そういうことに対して、節目節目のそういうことはずっと続いてほしいなということを考えています。

最後に、教育委員の皆さんには、海老名の教育のために、一年、共に歩んでいただきありがとうございました。感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。

それでは、報告事項に入ります。

日程第1、報告第29号、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第7号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料1ページをご覧ください。報告第29号、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第7号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてご説明申し上げます。こちらは、昨日、12月18日に行われました海老名市議会定例会の最終日に提案いたしました令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第7号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について、急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し、行ったことを報告いたします。

資料2ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。先ほど申し上げましたとおり、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件は、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第7号）のうち教育に関する部分でございます。

4、海老名市長からの文書につきましては資料3ページに、5、教育委員会からの申出文書につきましては資料4ページに添付してございます。

では、資料2ページにお戻りください。6、根拠法令（抜粋）につきましては、後ほどご覧いただきたくお願いいたします。

続いて、資料5ページに飛びまして、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第7号）教育委員会所管部分の資料でございます。

1、歳入歳出予算補正の（1）歳入でございます。18款繰入金、2項基金繰入金、2目公共施設等あんしん基金繰入金、1節公共施設等あんしん基金繰入金、細節1公共施設等あんしん基金繰入金でございます。所管課は企画財政課でございます。補正前額は1億770万円、補正額は77万6000円で、補正後額は1億847万6000円でございます。補正理由といたしましては、海西中学校屋内運動場大規模改修工事における対象事業費の増額に伴い、中学校施設整備事業費へ繰り入れを行うためでございます。

続きまして、21款市債、1項市債、7目教育債、3節中学校債、細節25中学校施設整備事業債でございます。所管課は企画財政課でございます。補正前額は2550万円、補正額は1150万円で、補正後額は3700万円でございます。補正理由につきましては、先ほど18款繰入金で申し上げたものと同様に、対象事業費の増額に伴いまして、市債を増額するためでございます。以上が歳入の説明でございます。

続きまして、資料6ページをご覧ください。（2）歳出でございます。10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費、細目2中学校管理経費、細々目3中学校施設整備事業費でございます。所管課は教育総務課でございます。補正前額は5894万6000円、補正額は1227万6000円で、補正後額は7122万2000円でございます。補正理由といたしましては、履行中であります海西中学校屋内運動場大規模改修工事につきまして、施工数量調査の結果から外壁補修箇所の変更と体育室天井面の追加補修等が必要になったためでございます。以上が歳出のご説明でございます。

続きまして、2、債務負担行為補正（追加）でございます。統合型校務支援システム導入の所管課は教育支援課でございます。債務負担行為補正の理由といたしましては、現在、市内小中学校で使用しております校務支援システムの契約満了に伴い、新たに導入する新規システムの選定等を行いたく、翌年度以降の業務を年度内に契約し、年度をまたいで実施したいためでございます。期間及び限度額につきましては記載のとおりでございます。

大変雑駁ではございますが、説明は以上でございます。

○伊藤教育長 ただいまの説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いいたしま

す。

○濱田委員 まず、2点お聞きしますが、6ページの歳出の補正の理由の中に海西中学校の屋内運動場の大規模改修工事で、外壁補修箇所の数量が増えたという部分と体育室の天井面の補修等が追加になった補正額1227万6000円の内訳はどうなっているのか、お伺いします。

次に、当然工期が延びるのではないかと心配なのですが、体育館といいますと、卒業式、入学式等で必要になってくると思いますので、工期についてはどのようになっているのか、教えてください。

○教育総務課長 ご質問にお答えします。

順番が逆になりますが、まず工期の関係です。こちらにつきましては、入札を2回かけて、この夏、8月に随意契約をしたときに、契約末を令和8年3月25日とさせていただきました。そのときから、そこをずらす考え方は持たずにいきたいということは請負業者に伝えておまして、当然卒業式やその後も引き続き終業式に使うことが多いので、最低限、中は使えるようにという調整を行い、工期をずらすことは考えておりません。

次に、変更金額の関係です。海西中学校の体育室の改修工事につきましては、令和6年度の予算を繰り越して事業を執行しています。その繰り越した事業費に約180万円残額がございます。それプラス、今回補正した額で変更工事費を見込んでおまして、全体の変更工事額は1408万円ほどになります。そのうち、濱田委員おっしゃられた理由の1つのグラスウールのボード、新しく天井面に設置するボードについては約1190万円なので、それが工事費の84%を占めています。そのほかに外壁補修については数量が増えていますが、40万円程度なので3%程度です。それ以外に大きな要素としてありましたのが軒どいの補修、雨水をうまく流す仕組みを作っているところですが、そこが大分傷んでいた関係で180万円、約13%です。この点が大きな要素で1408万円の変更工事が必要になったということになっております。

○濱田委員 分かりました。工期は頑張って、心配がないようにぜひお願いしたいと思います。

あわせて、もう1点です。所管が違つかもしれませんが、このように公共施設の修繕とかがいろいろ出てくるために、企画財政課で公共施設等あんしん基金というものをつくって取り崩しているんだと思うのですが、今回、微妙に市債との差額に応じた77万6000円の取崩しになっていますが、基金の現時点の残額、あるいは今年の決算のときの残額がも

し分かったら教えてください。

○**教育部長** 令和6年度分の決算ベースでご説明させていただきます。公共施設等あんしん基金ですが、現在残高が30億1490万7739円ございます。個別の利活用につきましては企画財政課で判断されると思いますが、現在基金としては約30億円ございます。内容としましては、もともと新まちづくり基金というものがあつたのですが、今、新まちづくり基金の活用が少し停滞していますので、これを公共施設等あんしん基金に繰り入れた、統合しているところがございます。

ただ、そうはいつでも現在30億円程度ございますので、今後の学校施設の整備等はこちらの基金を活用していくものだと考えております。

○**濱田委員** 分かりました。ありがとうございます。

○**海野委員** 統合型校務支援システム導入に関してお伺いしたいのですが、システムが変わっていくということで、いろんなご意見とかもあつたと思うので、そういったところを取り入れながらまとめていただくのはすごい大変だと思います。今までばらばらだったシステムが同じものが入って、統一してやっていけるということで、市全体の学校のシステムとしてどのようなことができているのか、できていくのかということをお伺いします。また、先生たちの働き方改革がすごい言われていて、丁寧に取り組まれていると思っておりますが、今後、先生たちの業務がどのように楽にやっていけるのかを教えてください。

○**教育支援担当部長** まず、現行のシステムは、市内19校統一したものを使っております。ただ、使い方が小学校、中学校で若干違ったりするのですが、基本的には統一したものを使っているということになります。委員がおっしゃったように、手書きの時代に比べると、事務的な作業は現時点でも劇的に軽減されていて、働き方改革につながっていると考えております。例えば、通知表1つとってみても、今は全部データからプリンターに指令を出して印刷するような形になっております。昔はスタンプを押したり、手書きで丸したり、そういう時代がありましたので、軽減されていると考えます。現時点でもかなりの事務的作業がデジタル化されて、軽減されていることは間違いないのですが、例えば分かりやすく1つ例を申し上げますと、今、欠席連絡等はいろいろなソフトを使っていますが、現在は、LINEを使っている状況です。欠席連絡がLINEに入った場合、学校が何らかの形で1つにまとめて確認作業を行い、それを先生方が出席簿に転記します。転記するといっても手書きではなく、校務支援システムに入力して、それで出席簿や通知

表・あゆみの出欠欄にデータが飛ぶようになっていきます。新しいシステムができることの1つの例としては、保護者連絡ツールも学校の校務支援システムの一部になるので、保護者からの欠席連絡がその時点でデータベースに飛んで、何の作業もなしに出席簿やあゆみに反映されるというような仕組みとなる予定です。

子どもたちは今GIGAスクール構想で、iPadやクロームブックといった学習用のコンピュータを使っていますが、それと先生たちが使うものはセキュリティーの関係で分断されています。セキュリティー面を考慮しながら、子どもたちの学習成果と先生たちの成績処理というものを、クラウドを通じて、連携できるような形を考えています。分かりやすく言うと、今はそれぞれがデジタル化されているのですが、個別に活用しているものを1つのネットワークにつなげたいと考えています。もう1つ大きな機能だと、例えばA君というお子さんのいろいろな情報、欠席の情報や成績の情報、児童生徒指導、支援上の情報等が集約されて、A君は今どんな状況なのか、A君に係る情報を学校の誰もが1クリックで見られるようになるといった機能も考えているようなところで、今以上にいろいろな部分で先生方の負担は減りますし、効率化されてくると考えております。

○海野委員 始まるのはもう少し先になると思うのですが、いろいろご意見を聞いてつくり上げて、より使いやすくしていってもらえたらいいなと思っています。

○武井委員 海野委員と同じ統合型校務支援システムなのですが、このシステムはたまたま海老名市だけ使っているのか、神奈川全体でこれからどうやっていくのかみたいなことが分かれば教えてください。もしかして、県全体で使えばもっと統一型もあるし、共有できる部分も多いと思いますので、お聴きしたいと思います。

○教育部長 校務支援システムですが、基本、神奈川県内ではほぼ使っています。どういったシステムを使っているか、全部は確認していないのですが、近隣の自治体は入っております。

○武井委員 使っているのですね。

○教育部長 使ってございます。特に神奈川県はそれなりに進んでいる状況があるのですが、国は次世代校務支援システム、校務DXシステムというものを推奨しております。それに基づきながら各自治体で、ベンダーも違う、システム内容も違うということで、独自につくっているというところで、今回の予算の債務負担行為も5年間で約2億4000万円かかります。財政的な負担が大きい状況になりますので、国としては都道府県単位でこれを共同調達というような制度を使って、システムの統合、統一化を行えば補助金が出ると

ということにはなっているのですが、ベンダーを統一するには市町村ごとにシステムの仕様が違いますので、その仕様を統一化するということがなかなか神奈川県としては難しいという状況を把握されております。

ただ、そうはいつでも、やはり財政的な問題というところではありますが、当然教職員の方々の働き方改革を考えれば、やはり県が音頭を取って、いろいろ動いていただかなければいけないということはあると思いますので、現在、海老名市として、県に対する対応を要望をしているところでございます。

また、県が県市町村CIO会議をつくっており、そのメンバーに副市長が入っております。これは県内でも情報、DXといったところを、会議の中でもいろいろと提案し、要望する予定でいます。そういった働きかけをしていきたいと考えております。

○武井委員 皆さんがやって、うまく先生たちも負担軽減になればいい。この間、黒岩知事にはこれは言わなかった感じですね。

○教育部長 黒岩知事には事前にはお話をさせていただいております。ただ、先日は、また別の会議でございました。

○武井委員 分かりました。引き続きよろしく申し上げます。

○伊藤教育長 藤吉委員、どうですか。教員をやっていた頃と比べて、感想があればお願いします。

○藤吉委員 徹夜でやった仕事が懐かしく思い出されますが、先生方の成績処理、保健関係事務がすごく軽減されてきたのではないかなと思います。成績処理をやっているときには手書きがいいとか、そういう話もあり、私たちが要望してもなかなか機械化されなかった時代でした。あと卒業証書なんかも印刷とかがなかなかできなかった時代ではあったのですが、今はこのような時代になったので、こういうところでは大いに仕事改革もありますし、使われるのは適当かなと思います。先ほど麻生教育支援担当部長のお話でいろいろ軽減される場所は分かったのですが、ここをこうやってほしいというような生の声はどんなことがあるのか、もし分かればお願いします。

○教育支援担当部長 実は校務支援システムの切替えに当たっては、1年以上前から選定委員ということで、管理職の先生、教務の先生、養護教諭等をメンバーで集めまして、研究に研究を重ねております。特に校務支援システムで一番威力を発揮するのは成績処理と進路事務の部分で、そこは中学校の校長先生、中学校の担当を中心に、よりミスなく、事故なく、適正に成績処理、進路事務が行えるようにという強い要望がありました。これま

でも現行の会社とは、カスタマイズのやり取りはずっとしてきていますが、そこが現場としては1つ大きい要望としてございます。

養護の先生方も、先ほど藤吉委員がおっしゃった保健関係の管理という部分でのご意見もありますので、それぞれの立場の方々を現場から集めて、声を生かせるように取り組んできているところでございます。それは今後も引き続き行っていこうと思っております。

○伊藤教育長 こういうシステムでいくと、システムに何か異常があったときは本当に大変な対応になるというのは、社会的にもそういう問題が起こっているところでございますが、セキュリティー上はどうですか。

○教育支援担当部長 セキュリティーは本当に大きい課題でありまして、今度我々が入れようとしているものは、いわゆるサーバー型ではなく、クラウド型というインターネットを経由するような形です。そのあたりも日々いろいろなものが開発されているので、そこにアクセスしようとしている人間が本当に認証されている人間かということダブルチェック、ダブル認証というのでしょうか。生体認証にするのか、もしくはほかの方法、カードみたいなものにするのか、分かりませんが、本当にその部分は完全に担保するものを大切にして選定していきたいと思っております。

○伊藤教育長 今の話ですが、債務負担で、令和8年度、また検討を重ねてということですが、実際に各学校で教職員が使用できるまでのスケジュールみたいなものはどうですか。

○教育支援担当部長 今回予算をお認めいただいたので、この後、選定のプロポーザルを行って、業者が決まって契約ということになります。次年度1年間を使って、今ある現行システムと併用するような形で、次期システムを使いながら、データ移行や先生方に慣れていただく期間にしたいと考えています。また、先ほど申し上げたように選定委員の先生方を引き続き集めて、新しいシステムに移行しながらも、どんな機能をさらに整えたいか等、できる範囲で、予算の範囲で新しいものをより使いやすくするようなカスタマイズを1年かけて行いたいと思っております。完全に現行のものがなくなって、新システム開始になるのは9年度当初からという計画でおります。

○伊藤教育長 ということでございます。

○武井委員 楽しみですね。

○伊藤教育長 楽しみですね。

○藤吉委員 セキュリティーを強くすると誰でも開けられるわけではないので、例えば先

生方が足りなくなっていて、前にやっていた先生にお願いしても、成績をつけるのが分からなくなってしまうので断ったという話もお聞きしたので、成績処理が誰でもできるともう少しやりやすいのかなと思います。そこはセキュリティーの問題で、誰でもいじれるわけではないというところが難しいですね。

○教育支援担当部長 現行で使っているシステムも、一度提出した成績を直したいときは、勝手に教科担当や担任が直せないようなシステムになっています。必ず1回、管理職にその旨伝えて、管理職が解除して直せるようにしているので、そのあたりは現行と変わらないと思います。いずれにしても、優先順位としてはセキュリティーを守ることだと思いますので、バランスを考えながら、基本的には安全を第一に実施していきたいと考えております。

○藤吉委員 分かりました。

○伊藤教育長 それではよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問等もないですので、報告第29号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第29号を承認いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会12月定例会を閉会いたします。